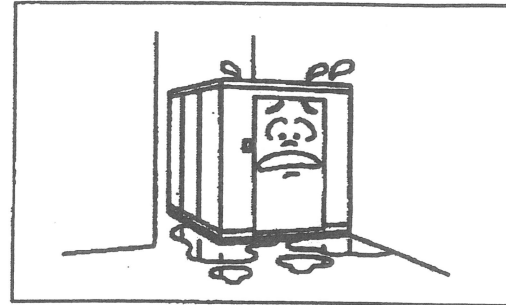


1. 設置場所

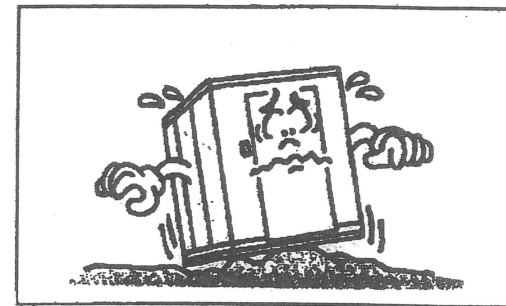
○風通しの良い、湿気の少ない場所に設置してください。

- 設置直後でコンクリート基礎等の場合、当初コンクリートが完全に乾くまでは露付きが発生することがあります。
- 梅雨時など、湿気の異常に高い時には、パネルの合わせ目、扉枠回り、まれにパネル前面に露付きが発生することがありますが、これは一時的な現象ですので必要な場合は拭き取るなどの処置をお願いします。
- 建物の壁、障害物より 50cm 以上離してください。結露の原因になります。



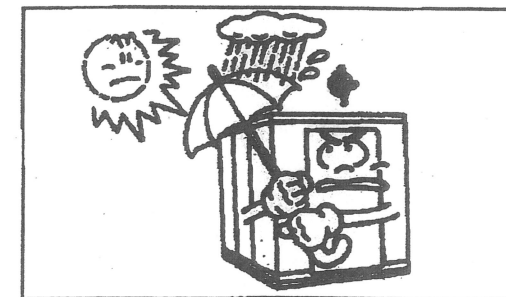
○強度が十分で、安定した場所に設置してください。

- プレハブ冷凍・冷蔵庫据え付け場所については水平な基礎コンクリートが必要です。
- 既設基礎が水勾配等で傾斜、凸凹がある場合は、基礎を水平にする必要があります。



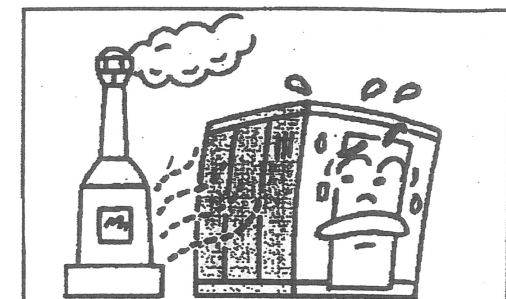
○直射日光や、雨の当たらない場所に設置してください。

- プレハブ冷凍・冷蔵庫は、屋内用です。
- 屋外に設置する場合は、直射日光をさけ雨の当たらないように屋根が必要になります。(別売の簡易屋根があります)
- (屋外型の場合は、地域により積雪状況または、建築基準法、消防法に関連も生じますので注意してください。)



○発熱器具より離して据え付けてください。

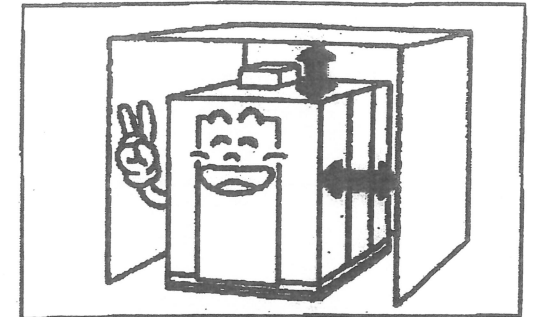
- 暑い場所では、冷却効率が落ちるばかりではなくパネル自体にも問題となります。(60℃以上で、断熱材が2次発泡する場合があります。) また、冷却ユニットが正常に作動する周囲温度は 35℃までです。



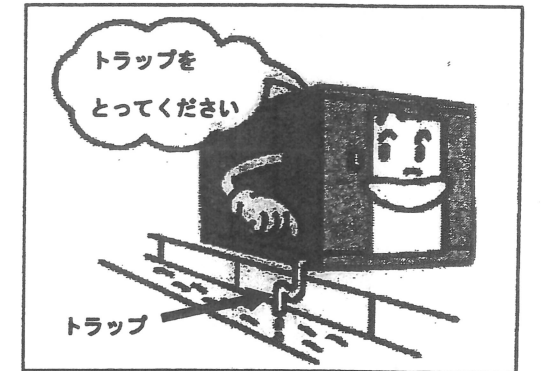
II

○内蔵型ユニットの場合、壁その他障害物より離してください。

- ユニット付近に凝縮機から出る熱がこもらないように障害物より離して設置してください。
- 冷却ユニットのサービススペースも必要です。

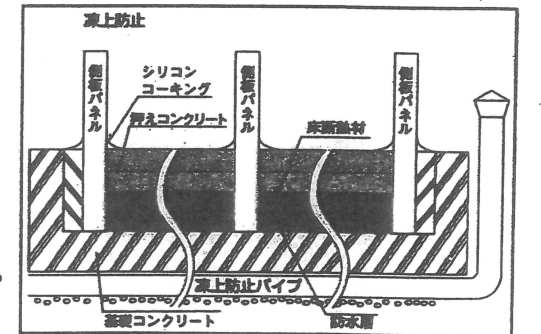


○配水管は必ずトラップをとってください。



○冷凍・冷蔵庫の仕様にあった床構造で工事を行ってください。

- 床パネルを使用した冷凍・冷蔵庫にはスキッド(H鋼、ブロック等も含む)を使用してください。
- 床パネルを使用しない冷凍・冷蔵庫は仕様にあった床構造で工事を行ってください。
- 庫内温度が 0℃以下の場合は凍上防止構造が必要です。



2. 床工事仕様

プレハブ冷凍・冷蔵庫を長期的に使用するためには、その土台となる床構造を使用目的、使用温度条件等を十分に考慮して仕様を決定しなければなりません。この事がおろそかにされますと使用途中に大掛かりな補修工事が必要になり、場合によっては、冷蔵庫を建てる金額をはるかにオーバーする補修工事がかかってしまう事も考えられますので以降に記載します仕様を参考に決定してください。

防熱・・・使用する温度帯により床断熱が必要か否か、また冷凍庫においては部屋の大きさにより凍上防止策が必要か否か等

耐荷重・・・貯蔵物の単位面積あたりの重量、または庫内に収納する方法(人間の手作業か、台車を使用等)によっても床の耐荷重を決定しなければなりません。